The background is a vibrant blue gradient with a pattern of fine, parallel white lines slanting from the top-left to the bottom-right. Several bright white starburst or lens flare effects are scattered across the lower half of the image, adding a sense of energy and modernity.

**FUJI
P.S**

CORPORATION
corporate profile

会社案内

ごあいさつ

皆様方には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

富士ピー・エスは「社会に貢献する」という会社創業の理念の基、社会から必要とされる企業として、存在価値のある企業ブランドの確立を目指しております。

現在の建設業界の市場環境は、少子高齢化の進展や一転した事業量急増による短期・中長期的な労務需給の逼迫など様々な構造的問題を抱えており、大きな変革の時代を迎えております。市場には多くの懸念材料はありますが、近年の需要拡大を大きなチャンスと捉え、前進して参ります。

これまで以上に発注者や協力会社の皆様と連携、協調を図り、高品質で各地域のインフラ整備に貢献していきたくと願っております。

これからもすべてのステークホルダーの皆様の期待にお応えし、誠実に信頼される企業となりますよう努力して参ります。

今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

堤 忠彦

I 自己責任の 遂行と成長

Responsibility and growth

社員一人一人が、それぞれの役割を全うすることで企業も人も成長する。

II 地域への貢献と 信頼の獲得

Contribution and reliance

地域に支えられて存続するものであり、地域の方々に信頼されることを目指す。

III 環境の変化への 対応と挑戦

Changes and challenges

環境は変化する。その時流を見逃さず、速やかに、かつ積極果敢に挑戦する。

IV 30年後の 富士ピー・エス

Fuji P.S in 30 years

大胆に、ただし細心の注意を払って行動する。着実に未来へ向かって歩むために。

富士ピー・エスが
未来へ
向かう
ための
約束
Fuji P.S
towards
commitment
the future

未来への架橋

Bridge to the future

思い描く夢を、見えるカタチに

プレストレストコンクリート技術を基盤とした先進技術で、橋梁など生活に不可欠なインフラ設備を数多く手掛けてきた富士ピー・エス。

国土強靱化が求められている今こそ、

私たちのポテンシャルを最大限に発揮すべき時だと考えます。

長年培ってきた経験と独自技術を駆使し、

真に住みやすく美しい空間造りに貢献していきたくと思います。

「誠実と信頼」を頑ななまでに貫き通し、人々が描く夢をカタチに。



CIVIL ENGINEERING

土木

多彩な構造形式

箱桁橋

橋の断面が箱の形をした橋梁です。車や鉄道は床版上を通り、箱の中には人が入ることができ点検が行えます。架設方法には、固定式支保工、張出架設工法、押出架設方法などがあります。



河内橋(大分県)
橋長/285m
3径間連続ラーメン箱桁橋
国土交通省九州地方整備局発注 事務所長表彰受賞

土木事業は、最先端の技術を誇る富士ピー・エスの中核事業です。

「安心と安全」「品質の向上」を目指し、技術革新を追求し続け常に最新の技術力を保有することで、より高い品質や工事費の縮減などが求められる近年の社会的ニーズに応える様々な構造の橋梁を施工してきました。

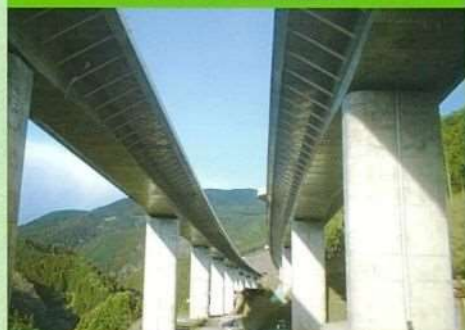
斜張橋・エクストラードズド橋

主桁の外に補強材のPC鋼材を配置した橋梁です。長支間に適用可能で、たわみが小さいのが特徴です。架設方法には、張出架設工法や固定式支保工があります。



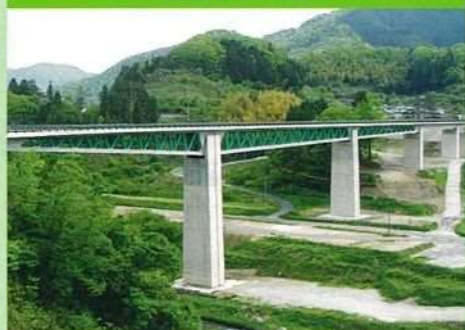
長者ヶ橋(新潟県)
橋長/294m
5径間連続エクストラードズド橋
新潟県発注

ストラット付箱桁橋



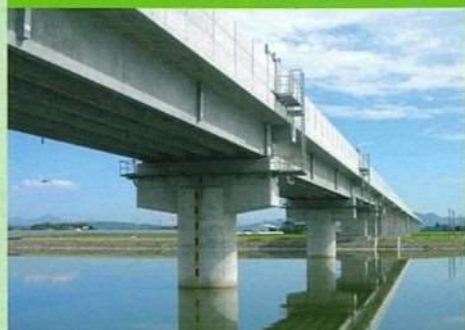
矢原第一高架橋(静岡県)

複合トラス橋



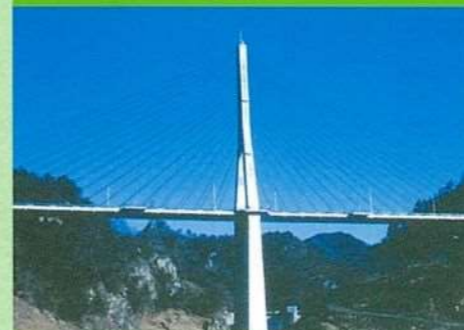
志津見大橋(島根県)

ポストテンションT橋、箱桁橋3橋



八間川橋(熊本県)

斜張橋



合角漣大橋(埼玉県)

ランガー橋



飯江川B橋(福岡県)

吊床版橋



本庄池橋(福岡県)

CIVIL ENGINEERING

多彩な架設工法

張出し架設工法

橋の架設地点が渓谷・海峡・河川などで、橋を支える橋脚や橋台をできるだけ少なくしたい場合に用いられる工法です。橋脚を中心に移動作業台車や移動式架設桁で左右のバランスを取りながら架設していきます。



葉山大橋(熊本県)
橋長/295m
PC4径間連続ラーメン箱桁橋
国土交通省 九州地方整備局発注

国道3号線熊本北バイパスは、熊本市と周辺地域の交通混雑の緩和、主要幹線道路としての機能、連携機能の確保が目的です。住宅地を通るPC橋で騒音振動の低減・落下物防止等、特に安全に配慮し施工しました。



つづら川橋(愛媛県)
橋長/311m
3径間連続ラーメン箱桁橋
国土交通省 四国地方整備局発注 局長表彰受賞

移動作業車により最大張出長90m、32BLの張出し施工を行いました。スパンケーブルは、全長310mと外ケーブルとしては最大級です。

大型移動支保工架設工法

同じ長さの径間が連続する橋梁に採用されます。1径間分の型枠支保工を一括して次の径間に移動することでそれらの組立解体手間を大幅削減でき、環境にも優しく工期の短縮が期待できます。



九州新幹線 第二地下道高架橋(福岡県)
橋長/1,080m(内700m)
4主版T桁橋、他単純T桁橋
九州新幹線建設局発注 PC工学会・施工技術賞受賞

JR西日本博多総合車両営業線および幹線道路に近接する市街地工事であることから周辺環境に配慮して施工をしました。移動支保工架設は20径間に採用しました。



敷地高架橋(静岡県)
橋長/612m
PRC(12+5)径間連続中空床版橋・PRC3径間連続箱桁橋
NEXCO中日本静岡建設局発注

静岡県磐田郡の丘陵地を通る20径連続PC橋梁。140km/h走行に対応するため中空床板と箱桁を一体化してオール連続化。安全快適な走行空間の確保、騒音振動の低減による環境対策や免震支承で耐震性を向上させ景観にも配慮しています。

バランスドカンテレーパー架設



伊良部大橋(沖縄県)

スパンバイスパン架設



鍋田高架橋(愛知県)

アーチ橋張出し架設



籠大橋(福岡県)

押出架設



西芦田橋(兵庫県)

固定式支保工架設



山梨リニア小山高架橋(山梨県)

架設桁架設



小佐川橋(兵庫県)

MANUFACTURING

日本全国を6工場のネットワークで結び、コスト削減や工期短縮といった顧客ニーズに対してソリューションを提供しています。

工場では熟練した社員による厳正な品質管理のもと多様なプレキャストコンクリート製品を製作しています。主な製品としては土木部門の橋梁用桁や床版、鉄道用マクラギ、建築部門ではビルに使用する柱・梁、床に使う合成床版用PC版（FC版、FR版）などがあり、それらの製品は北海道から沖縄までの工事現場へ運搬され、構造物として完成していきます。

プレキャストコンクリート製品は高品質な部材を大量に提供できるという特性をもち、現場作業を大幅に軽減できるとともに資材を有効活用することで地球環境を守ることができます。



いわき工場新IM設備



自動化生産システム



東北工場

関東工場

九州小竹工場

三重工場

滋賀工場(シービーケイ)

いわき工場

工場製品

けた橋げた



セグメント桁



TPC枕木



FR板



プレキャスト建築構造



プレキャストPC円筒部材(超高強度コンクリート使用)





DEVELOPMENT OF PRESTRESSED CONCRETE TECHNOLOGY

補修・補強

外ケーブル補強

勝浦大橋(千葉県)



建設後45年が経過しており、飛来塩分の影響により橋桁が劣化・損傷したため、外ケーブル補強等により低下した耐荷力を回復させています。

電気化学的脱塩工法こゝろ小余綾高架橋(神奈川県)



建設後約40年経過した橋梁の塩害対策工事です。補修工法に電気化学的脱塩工法が採用されました。

吊桁取換、主桁補強、床版補強・拡幅

源太橋(鳥取県)



コンクリート桁の一部を鋼桁に取換え



T-9荷重からA活荷重へグレードアップ(外ケーブル補強、炭素繊維シート補強)



床版の拡幅と上面補強

建設後63年経過した老朽橋で耐荷性と幅員が不足していました。一部のコンクリート桁を撤去し、鋼桁に取換えるとともに主桁の補修・補強を行いました。

PCタンク・容器



座喜味第2配水池(沖縄県)

世界遺産に登録されている沖縄県読谷村・座喜味城跡に隣接しています。そのため、景観性に重点を置きました。



鯉田共同配水池(福岡県)

上部の二重円筒形PCタンクをRC構造の壁、柱等で支える高架式PCタンクです。

これまでの橋梁建設において培ったプレストレスの技術やその周辺技術は、建築構造物だけでなく、コンクリートを使用するさまざまな構造物の建設や維持管理、地域環境の維持保全など、幅広い用途に応用が可能です。富士ピー・エスでは、さまざまな橋梁の補修・補強やリニューアルにこれらの技術を応用するとともに、タンクなどの容器構造物にも適用し、住みよい環境づくりに貢献しています。

プレキャストPC床版取換工法

湖辺底橋(沖縄県)



供用から35年が経過しており、上り線のPC床版をプレキャストPC床版に取り替えました。

屋嘉第一高架橋(沖縄県)



供用開始から37年が経過した既設PC床版を50日間の短期間でプレキャストPC床版に取替えました。

府内大橋(大分県)



床版取換工からおよそ30年を経過した現在も、PC床版は健全な状態を保っており、本工法の耐久性の高さが実証されています。

取瀾川橋(長野県)



橋齢34年の橋梁で、既設のRC床版を撤去し、高品質なプレキャストPC床版に取替えることにより、耐久性の向上を図っています。



金沢卵形消化槽(神奈川県)

卵形消化槽は消化槽の頂上部まで支保工なしで施工できるクライミング型枠による施工が特徴であり、従来の消化槽に比べ液漏れや臭気漏れによる不快感がありません。



横瀬貯油所タンク(長崎県)

防衛省貯油タンクの改築工事です。既設タンクの屋根や支柱を撤去し、その内部に60,000kℓのPCタンクを建設しました。